

会津は米どころ コシヒカリ・ひとめぼれの特A産地!!

両沼地方稲作情報 刈取緊急情報 平成26年10月1日

発行：JA会津みどり営農部・各総合支店

福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所（電話0242-83-2112）

”

金山普及所（電話0241-54-2801）

穂の基部（穂首）に近い2次枝梗の籾は、登熟後期の低温など環境不良の下では、玄米の発育が停止し「青米（青未熟）」となります。

基部の籾の黄化を待っていると、登熟の進んでいる穂の上部籾の品質低下が心配されます。

籾の黄化状況だけではなく、**枝梗の黄化**を確認して刈取りを進めてください。

青米とは

登熟後期が低温であった場合、倒伏した場合、早刈りした場合などで多く発生します。農産物検査では「青死米：粒の大部分が粉状質の粒で光沢のないもののうち緑色のもの」に区分されます。



1 「青米（青未熟）」の発生した一要因

最低気温は、8月26日から9月24日まで、平年より低く経過しました。日照時間は平年より長かったですが、西日の当たらないほ場では登熟不良が生じやすくなりました。

表1 主要品種の出穂後の気象データ

品 種 出穂期	年次	出穂後50日間の 日平均気温 積算値(°C)
ひとめぼれ 8月1日	本年値	1,161
	平年値	1,185
	平年比	▲24
コシヒカリ 8月7日	本年値	1,097
	平年値	1,144
	平年比	▲47

表2 登熟中・後期の気象データ

〔8月26日～9月24日〕

	日平均気温 (°C)	日最低気温 (°C)	日照時間 (積算 h)
本年値	20.0	15.5	180
平年値	21.6	17.5	146
平年比	▲1.6	▲2.0	123%

(気象データ：若松アメダス)

2 品質低下対策

(1) 刈遅れによる「胴割粒」発生防止

24年産コシヒカリの「胴割粒」発生は、9月25日頃までの降雨ではほとんど増加しませんでした。9月30日の降雨と刈遅れにより急激に増加しました。(右の図を参照)

胴割粒の多発生は、24年産会津コシヒカリの「特A」陥落の要因の一つとなりましたので、刈り遅れにならないよう適期刈り取りをお願いします。

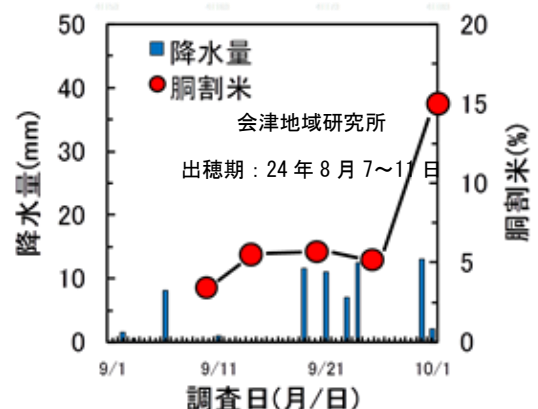


図2 24年産コシヒカリ胴割粒発生

基部（穂首）の籾の黄化を待っていると・・・

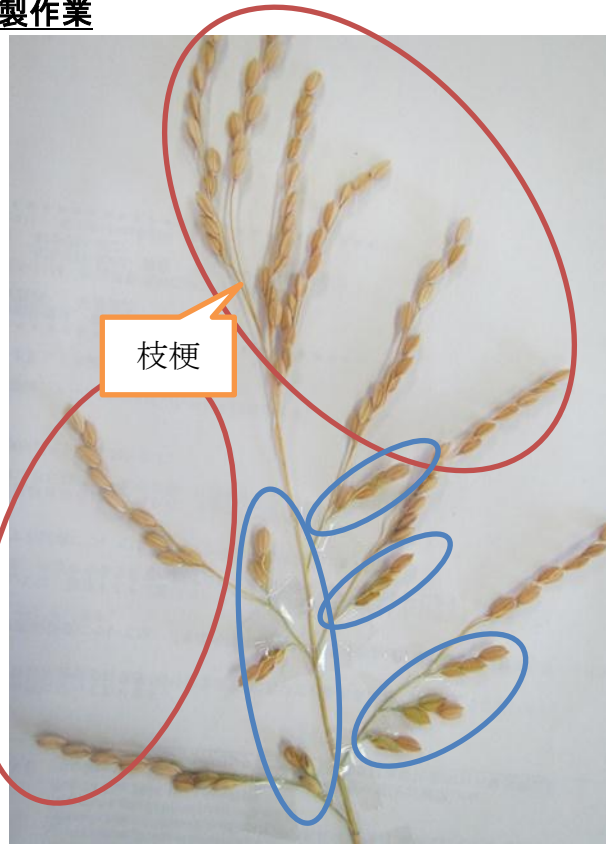
(2) 枝梗の黄化状況からの刈取り判断と丁寧な調製作業

稲穂には穂軸から直接生えた枝梗（一次枝梗）
についた籾と一次枝梗から分岐した枝梗（2次枝梗）
についた籾があります。

一次枝梗の穂先に近い籾（赤丸で囲んだ籾）は
登熟がしやすく、逆に二次枝梗についた籾のう
ち、特に基部（穂首）に近い籾（青丸で囲んだ
籾）は登熟が進み難いという特徴があります。

今後の刈取りの判断は、二次枝梗の籾ではな
く、一次枝梗の籾が黄化したときに刈取りをし
てください。

また、今年は青米（青未熟粒）の発生が多いの
で、玄米に混入させないように、調製作業を丁寧
に行ってください。



●稲わらを焼却するのは止めましょう。

稲わらは貴重な有機資源です。

燃やさずに、水田にすき込むなど有効活用しまし
ょう。

稲わらのすき込みは、土壌を柔らかくし、地力を増
やす効果があります。

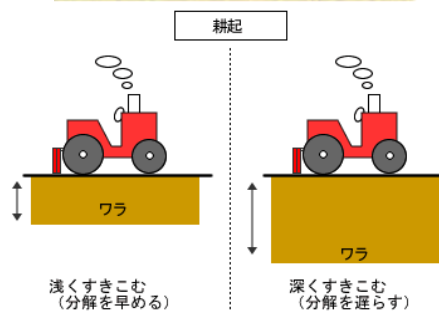


鋤込み方…生わらを分解は、秋鋤込みが理想的

【分解の3条件】

微生物が活動し生ワラが分解するためには

- ・適度な水分→収穫したあと乾燥しないよううちに！
 - ・適度な温度→気温が暖かいうちに浅耕で暖かい地表面に鋤込む！
 - ・適度な酸素→耕うんによる空気への補給
- つくしま、ふくしま米情報センターHPより引用



●コンバイン事故に注意しましょう。

今年も水稻の収穫作業が始まります。コンバイン
での重大事故が多いため、作業にあたっては十分
に注意しましょう。

- ・点検・調整時にはエンジンを止める。
- ・はずしたカバーは必ず戻す。
- ・畔越えの時の転倒防止…基本は通路で移動する。

